

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
数 学	数 学	大日本図書

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・導入、学習のねらい、例題、まとめ、適用問題の流れが一貫しており、基礎的・基本的な知識及び技能を習得したり、数学的活動を積極的に取り入れたりするなど、学習指導要領に示す目標や内容に即した適切な構成・配列になっている。 ・1単位時間分が見開き2ページにまとめられており、学習の手がかりとなる問題、学習のねらい、学習活動の構成となっている。また、随所に書き込み欄があるなど思考力を育む工夫が適切に行われている。 ・導入問題では、既習の学習内容を取り上げ、本時の学習内容との関連が想起しやすいよう、よく配慮されている。また側注に「思い出そう」を設けることで、既習事項の振り返りができるよう十分に工夫されている。 ・節末の練習問題では、AとBの2種類あり、生徒の理解の状況や習熟の程度に応じて学習できる工夫がされている。巻末の「小学校の復習」、「中学校数学のまとめ」で学び直しの機会を設定したり、「もっと数学」で発展的な内容を扱ったりしている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての単元に利用の節が設けられており、学んだことを活用することで楽しさを実感できる適切な単元構成になっている。 ・既習の学習を想起させる導入問題があったり、「例」では思考の仕方を身に付けるための問いがあったりするなど、数学的な考え方や学び方を育む工夫が適切に行われている。 ・各単位時間の練習問題の側注に補充問題として「プラスワン」が位置付けてあり、節末には「練習」、章末には「各章の問題」、巻末には「まとめの問題」として多様な問題を掲載し、個の状況に応じて学習するために十分な構成・配列・分量になっている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめにその単元で学習する内容と関連のある日常生活の場面を捉えた写真を掲載したり、「社会にリンク」や「マスフル」では、学習内容と実生活の結びつきが分かるコラムを示したりするなど、学習内容を身近に感じるための工夫が十分されている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・1年と2・3年では文字の大きさを変え、小学校や高等学校教科書とのつながりが配慮されている。明朝体を基本に、重要語句をゴシック体にするなど、大変見やすい構成になっている。 ・目次の側注に「これまでに学んだこと」として、既習事項とのつながりを明記したり、索引には数学用語だけでなく学習内容も示されたりするなど利便性が大変高い。
5 総 評	<ul style="list-style-type: none"> ・例題では、解答例を示すだけでなく、考え方の指針を与えたり、空欄へ記入したりするなどして、生徒の思考過程に合わせ、自ら問題解決を図るための工夫が十分されている。 ・既習内容を想起させる導入や各単元に利用の節を設けるなど、数学のよさを実感できる適切な構成になっている。